

地方独立行政法人京都市立病院機構
病院賠償責任保険のプロポーザルについて(提案書作成要領)

提案書(様式3)は以下の要領に従って作成すること。

1 記載事項

- (1) 保険料(保険料算出に際しての仕様及び保険期間は別紙「賠償責任保険仕様書」のとおり)
 - ① 保険料総額(平成31年度契約分, 病院毎の保険料内訳を記載)
 - ② 保険料算出の考え方
 - ③ メリデメテーブルの提示を求める。
 - ④ その他, 下記(ア), (イ)について記載のこと。
 - (ア) 損害率以外に保険料算出方法の変更の可能性があれば記載のこと。
 - (イ) 将来, 保険会社変更に伴い, 「発見ベース」または「損害賠償請求ベース」に保険約款が変更となる場合に適用すべき特約条項や, 割増保険料の有無について記載のこと。
- (2) 医療紛争対応体制及び個別紛争対応要領
 - ① 損害処理体制
 - (ア) 医事紛争への対応を行う社内体制
 - (イ) 医事紛争対応実務を行う組織の部署名, 配置人数, 経験等
 - (ウ) 当該部署の年間医事紛争対応件数, 提携弁護士数 等
 - ② 個別紛争対応要領
以下の順に沿って個別紛争発生時の対応要領を記載のこと。
 - (ア) 紛争発生時の対応
 - (イ) 対応方針の協議
 - (ウ) 法律上の損害賠償責任の有無
 - (エ) 弁護士委任の要否の判断, 紹介等
 - (オ) 進捗の確認
 - (カ) 解決に際しての協議
 - (キ) 損害賠償責任額の算定
 - (ク) 調停案や和解案に対する意見
 - (ケ) 保険金の支払い
 - ③ 両病院における医療安全に関する取組の支援
両病院における医療安全研修会でのリスクマネジメント関連の講演支援等, 支援可能な内容について個別に記載のこと。保険会社本体及び関連会社にて実施するものに限る。
- (3) スタンダード&プアーズ(S&P)社あるいはムーディーズ社による直近時における保険財務力の格付け(いずれかを記載すること。)
- (4) 保険引受実績, コンサルティング実績等
 - ① 病院賠償責任保険の引受実績(平成29年度病院賠償責任保険 500 床以上の引受病院数)
 - ② 医療紛争・医療安全に関するコンサルティング実績(平成28・29年度)

(5) その他

その他、両病院を取り巻く環境に対して、相談・指導等の対応可能な事項・実績等があれば記載すること。

2 添付書類

(1) 保険業法(平成7年6月7日法律第105号)の規定に基づき損害保険業免許を受けた者であることを証する書面を2部提出すること。

(2) 保険約款, 特約条項等

保険料算出に当たり適用する保険約款, 特約条項等全てを各2部提出すること。

なお, 提出書類については, 自動担保条項を含め適用される約款・条項の箇所を付箋又はマーカー等で明示すること。

3 留意事項

(1) 提案書の用紙は A4版, フォントの大きさは「10以上」とすること。

(2) 提案書は, 最大20ページ以内にまとめること(表紙, 目次, 別添資料等を含む。)

(3) 提案書は, 署名・押印のうえ, 原本1部(写しを8部)提出すること。

(4) 参加者は, 提案書提出後, 作成要領, 仕様書及び添付書類についての不明等を理由として異議を申立てることはできない。